

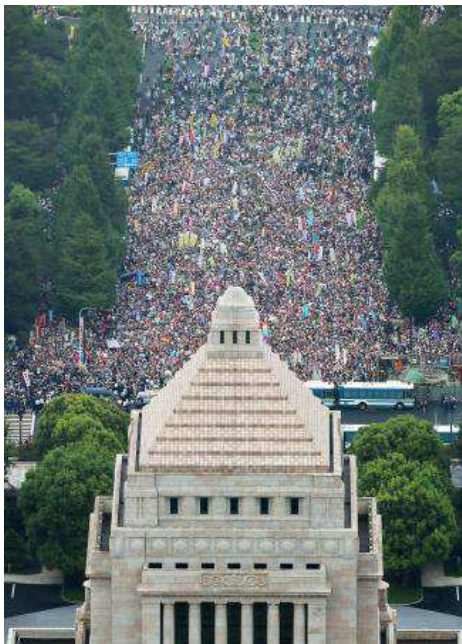
あまりの酷暑でエアコンを使わざるを得なかった8月も、下旬に入ると、暑さが嘘のように消えて、肌寒いと感じるほどで、夏の終わりとなりました。

この夏は気候だけが異常で狂ったような暑さをもたらしただけでなく、国会での質疑、また、内閣、与党のさまざまな人々の、信じられないような、民主主義否定、法否定、平和否定、公僕としての自覚のない発言が続き、それに対する何の自浄の姿勢のない安倍政権の腐りきったような姿をTVで見させられ、私も狂うような胸苦しさを味わった一夏でした。

今日のかねてより計画されていた8.30国会10万人集会に参加いたしました。午前中は横浜本郷台教会で礼拝を守った後、すぐにラーメン店でお昼をとって、国会議事堂をめざしました。

JRも品川あたりから、この集会に参加する多くの方々が電車に乗り込んで来ました。地下鉄に乗り換え、国会議事堂前で降りた途端、身動きできないほどの乗客が改札から、出口までの通路に押しとどめられました。それは地下鉄の出口を一カ所のみ開放し、その他の出口を機動隊が「皆様の安全保持のため」と称して、規制していたからです。現実問題として、これだけ混み合っているのに、出口を規制することが、安全になるのでしょうか。とんでもない！汗ばみ、息苦しく、非常に不快なものでした。正当に、自由に集まっている市民を、権力が、無意味に拘束することが、安全？

やっと出口から出たら、義弟がこの集会を企画した様々な委員会の一員のように、当日のプログラムを配布していました。いつもながら彼は平和のために様々な務めを引き受けてくれているのです。その顔を見て嬉しくなりました。そして、国会正門前を目指して行きました。



東京新聞 web版より

ところがあまりに多くの人々が集まり、正門前へは人が一杯で進むことが出来ません。正門前の道路は集会のために車両の通行が遮断されて、参加者が溢れていました。ステージも見えませんでした。スピーカーはあちこちに設置され、スピーチなど、集会の様子を聞くことは出来ました。前回には、国会議事堂を囲む歩道で、人間の鎖を作り、シュプレヒコールをあげたものでした。私たちは、国会前の憲政記念公園の中に港南台9条の会の幟を見つけ、そこへ合流しました。多くの人々が公園中に列を作って、立って、スピーカーに耳を傾けながら、参加せざるを得ませんでした。それほど参加者が多かったのです。民主党、共産党、生活の党、社民党の代表や文化人など、「戦争法案反対！憲法9条守れ！強行採決絶対反対！安倍政権退陣！」を要求するスピーチをし、国会でも戦うと誓いました。弁護士は警察の過剰警備を見張っていると言います。元気な可愛いらしい女性の声に従って、全員でシュプレヒコールをあげました。

参加者は私たちのように、自由に参加した市民でしたが、「今も維持できている平和を守りたい、二度と戦争はごめんだ、誰一人戦死させたくない」という本当に単純に平和を祈る思いでそこに立ちつくし、声を上げているのです。世論に訴えたいと願い、デモの形をとり、この声を無視しないで欲しいと心から願いながら、表明しているのです。また、私たちの年代、つまり60歳代～70歳代の方々が圧倒的に多かったでしょう。子連れの親御さん、若いカップルなども目につきました。長男も参加していましたが、とても見つけることなどできません。彼は集会の最後まで残り、あとで携帯で参加者が12万人と教えてくれました。幸い、雨はさほど気にならず、参加者数も予想を越え、集会は成功でした。安倍政権に、私たちの戦争法案反対の願いに耳を傾けてほしいと願います。